

第16回「青松賞」懸賞論文審査結果

12月22日、「青松賞」懸賞論文選考委員会が、選考委員として、中村人文学部長・渡辺法学部長・山崎経済科学部長・高木人文・法・経済学部同窓会長・近藤事務局長で開催され、以下の通りの選考結果となりましたのでお知らせいたします。応募数は37件でした。応募の内訳は、人文学部10件・法学部4件・経済科学部・経済学部23件でした。

優秀賞 山田 太朗 (人文学部4年)
SNSの恩恵を最大限に受けるための倫理的態度

嶋倉 敦紀 (法学部4年)
データ・クローン襲撃

村上諒輔 (経済学部4年)
EC市場の課題と食品業界のEC化

奨励賞 村山 貴史 (人文学部2年)
二つの「殻 (ゲホイゼ)」ー 資本主義とインターネット ー

渡邊 仁崇 (法学部1年)
「新たな社会」と共存する～Society5.0の中で人間はどう向き合うか～

張ヶ谷 楓 (経済学部2年)
サイバー空間での出会いは善か悪か

毛利 玲雄 (経済学部2年)
サイバー社会における民主主義

※4年生の入賞者は、3月の各学部の卒業祝賀会で、3年生以下の入賞者は、4月のガイダンスにて同窓会から表彰いたしますので、ご出席をお願い致します。

詳しくは後日該当者へご連絡致します。

(尚、新型コロナウイルス感染拡大のため、卒業祝賀会及びガイダンスが中止された場合は再度メールでご案内いたします)

(予告) 第17回「青松賞」懸賞論文のテーマは

「パンデミックと社会」 (テーマの補足は募集要項、青松70号で発表予定)